

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと(校歌3番の文言から)

平成29年度 3学期終業式 校長講話

校長 柳沼 宏寿

今日で平成29年度が終了します。今年度は附属新潟中学校の創立70周年という大きな節目の年でした。記念式典を始めとして本校の歴史を繙く機会が多くあり、全国の教育を先導するという重要な使命を果たしてきた歴史の重みを思い知らされた一年でもありました。そしてまた、諸先輩方が本校を訪れ、みなさんの現在の姿を見ながら、附属新潟中学校の伝統がしっかりと息づいていることを大変喜ばれていました。とりわけ、今年度は、学びの成果が社会的に評価される機会が目立ち、表彰された数が例年になく多くありました。中体連などのスポーツに加えて文化面での活躍が目立ち、テレビや新聞などのマスメディアにも採り上げられました。附属の関係者はもちろんのこと外部の方々からも激励の声が大変多く届いています。皆さんの活躍ぶりに刺激を受け、皆さんを目標として努力をしている小・中学生も少なくないようです。改めてみなさんの日頃の取り組みに敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。

そしてまた、この3学期は、東京班別学習や台湾の旅という大きな行事がありましたが、予定していた研修をこなして、無事帰ってくることができたことをうれしく思います。社会の一員として、また、国際化社会において活躍するためには、どのような力を身につけていくことが必要なのか、身をもって感じてきたことと思います。それをこれからの自分の生き方に生かしていけるよう、検証と価値づけをしっかりと行っていただければと思います。

ところで、宇宙物理学者のホーキング博士が先日亡くなりました。ホーキング博士はALS(筋萎縮性側索硬化症)という病気でありながら、宇宙の始まりやブラックホールに関する理論を発表するという偉大な功績をあげた方です。ALSは、眼球を動かすこと以外の全ての筋力が無くなってしまいう難病ですが、意識は全く正常なままなので、患者本人にとって



の苦しみと恐怖は私たちの想像を絶するものがあります。実は私の身近にもALSを患っている方がおり、本人はもちろんのことその介護にあたる家族もまた人生の大半を闘病に費やしている様子を知っています。ですから、ホーキング博士が闘病と並行して世界最高レベルの学説を発表し続けていることは、驚きであると同時に大きな希望でもありました。彼は「人生はできることに集中すること。できないことを悔やむ必要はない」と言っています。そして「自分の置かれた状況のなかで最善をつくすべきだ」とも言っています。世界をリードする研究が生み出されたヒントがそこにあります。皆さんは、自分の現状に不満を持ったり、迷ったりすることが多い年代かと思いますが、ホーキング博士に言わせれば、そこで足踏みする必要はなく、自分を信じることで、そして自分が今いる環境を生かしながら前進することが大事だと、極めてシンプルなことを説いているような気がします。附属新潟中学校という恵まれた環境にいることを思えば、皆さんの可能性は無量大と云えるのではないのでしょうか。

話は少し変わりますが、宇宙の始まりには「ゆらぎ」があったとされています。みなさんは「ゆらぎ」という言葉を聞いてどのような状態を思い描きますか。堅牢な建物がぐらぐらと揺らぐようなイメージが強いかもしれませんが、逆に、ばらばらなものに「秩序」や「リズム」が生じる場面にも「ゆらぎ」があります。たとえばお線香などの煙を思い出してみてください。煙の「ゆらぎ」は緩やかな軌跡を描きながら宙に漂っていますが、あの煙をミクロの視点で観察すると、皆さんも知っているように分子同士がぶつかり合う「ブラウン運動」が起こっています。一つ一つは無秩序に動き、隣同士の分子とぶつかり合っているのに、それが全体としては大きな流れを形成して、煙独特の緩やかな軌跡を創り上げているのです。そのように、混沌とした状態から秩序が生み出される作用も「ゆらぎ」と呼ばれ、それはノーベル化学賞を授賞したイリヤ・プリゴジンという科学者も物質と生命を橋渡しする理論として提言しています。

さて、そのような「ゆらぎ」に見られる個と全体の関係について、私は皆さんが推し進めている「自主独立・協同」というスローガンと重なっているように感じられます。一人一人が自分の力で立ち上がると同時に、仲間と互いに支え合い高め合いながら、附属新潟中学校という独特の文化を創造している姿です。これからのグローバル化が加速する時代の中で、多様な存在がそれぞれを尊重しながらも全体として調和の取れた社会を形成することが重要な課題とされています。創立70周年記念式典でも触れましたが、紛争やテロなどの解決困難な課題、いわゆる「アポリア」を解決するためには、もしかすると宇宙が生まれる時のあるいは生命現象が生み出される時の「ゆらぎ」、言い換えれば「自主独立・協同」に大きな鍵があるような気がします。皆さんに期待する所以です。来月から、いよいよ附属新潟中学校の2年生と3年生です。自分のビジョンをしっかりと掲げ、仲間や先生方と協同しながら附属新潟中学校の新しい伝統を創造していきましょう。